

バランスシートで見る幸手市の財政

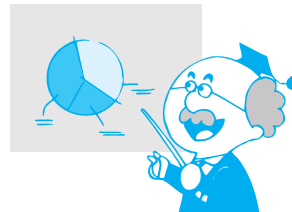
市では平成18年度決算を受けてバランスシートを作成しました。

地方公共団体の財務会計だけでは、保有している資産の状況や減価償却費などが把握されていないなどの欠点がありました。バランスシートは企業会計でいう「貸借対照表」のことで、これによって、市が保有している道路や施設などの資産状況や地方債などの負債の状況を一つの表で見ることができます。また、分析することにより市の財政の状态を知ることができます。

問合せ 財政課 ☎(43) 1111 内線 254・FAX (43) 3783

(平成19年3月31日現在 単位：千円)

借 方		貸 方	
《資産の部》		《負債の部》	
1 有形固定資産	56,470,863	1 固定負債	16,768,371
総務費	2,501,228	地方債	12,677,272
民生費	958,994	債務負担行為	340,660
衛生費	4,353,141	退職給与引当金	3,750,439
労働費	247,652	2 流動負債	1,747,428
農水費	1,666,082	翌年度償還予定額	1,747,428
商工費	221,353	翌年度繰上充用金	0
土木費	22,211,582		
消防費	1,571,939		
教育費	22,738,892		
その他	0		
(うち土地)	15,796,297		
2 投資等	1,311,857		
投資及び出資金	59,095		
貸付金	761,528		
基金	125,842		
退職手当組合積立金	365,392		
3 流動資産	1,722,623		
現金・預金	1,120,867		
未収金	601,756		
資産合計	59,505,343	負債合計	18,515,799
		《正味資産の部》	
		1 国庫支出金	5,161,122
		2 都道府県支出金	1,149,375
		3 一般財源等	34,679,047
		正味資産合計	40,989,544
		負債・正味資産合計	59,505,343



◆資産の部

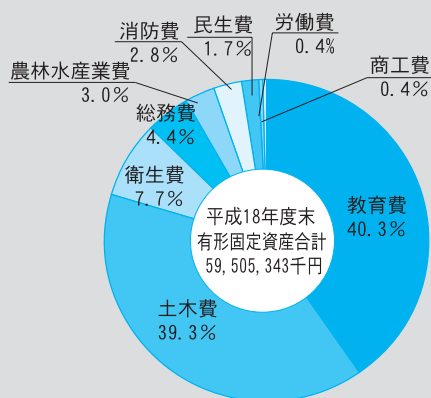
有形固定資産／税などを支出して形成された公有財産で、減価償却後の価格を計上しています。土地代は買ったときの価格で計上しています。投資等／投資および出資金、貸付金、基金（積立金）、市町村退職手当組合積立金の基準日残高を表示しました。流動資産／流動性の高い基金である「財政調整基金」および「減債基金」、「歳計現金」並びに「未収金」を計上しました。

◆負債の部

固定負債／市の借入金である地方債残高および債務負担行為、退職給与引当金を計上しました。将来において支払う必要のある金額です。退職給与引当金は、平成18年度末に全職員が普通退職したと推定し、その要求額を計上したものです。流動負債／地方債のうち翌年度償還予定額を計上しました。資産を取得したため、翌年度において支払う必要のあるものです。

◆正味資産の部

正味資産／資産の取得に当り、既に支払に充てた金額です。国や県からの補助金や返済義務のない自己資金がこれにあたります。



▲行政目的別有形固定資産割合

正味資産合計 / 有形固定資産合計 = これまでの世代による社会資本の負担比率

これまでの世代が負担した割合 72.6%	これからの世代が負担する割合 27.4%
-------------------------	-------------------------

▲社会資本の世代間負担の状況

▼行政目的別有形固定資産割合
行政目的別有形固定資産の割合を見ることにより、行政分野ごとの資本形成の比重を把握することができます。平成18年度末現在の数値の割合をグラフにしたところ、学校や社会教育・文化施設などの資産をあらわす教育費が40.3%となり、つぎに、道路・公園などの土木施設をあらわす土木費が39.3%となっています。この2つで有形固定資産全体の79.6%になります。

▼社会資本形成の世代間負担割合
社会資本整備の結果を示す有形固定資産のうち、正味資産（市税、国・県支出金など借金以外で形成されているもの）による整備の割合を見ることで、これまでの世代によって既に負担された分の割合を見ることができ、この比率が高いほど将来の世代への負担が少ないことを表しています。幸手市では平成18年度末現在で72.6%となっています。

バランスシートを見てわかること